コース２６　谷川岳山麓周回（たにがわだけさんろくしゅうかい）

リーダー　ＣＬ　S.N.　SL　S.E.
実 施 日　令和４年１０月２３日（日）
天　　候　曇りのち晴れ　**グレード**　Ａ上
参 加 者　２１人（男性　５　女性１６）

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備　　考
秋葉区役所前		６：００	駅西口７名乗車、越後川口で休憩と登山靴に
土合口Ｐ（RW 駅）	８：４２	９：０３	身支度、山岳資料館立寄り。国道 291 号線を歩く
旧道・マチガ沢出合	９：４６	９：５３	秋の谷川岳山頂から続くマチガ沢岩壁を見る
旧道・一ノ倉沢出合	１０：２６	１０：５３	日本三大岩壁 1000m以上の圧巻の岩壁感激
旧道・幽ノ沢出合	１１：２７	１１：４８	ブナ林からの湧水「ブナのしずく」立寄り
分岐	１１：４８	１１：５０	林の中の急下りの落葉が被さる階段を下る
JR 巡視小屋	１２：１０	１３：００	ブナ林のなかで昼食。
新道・幽ノ沢、一ノ倉沢、マチガ沢を渡渉	１３：２２	１４：０９	水流が谷川岳分水嶺から太平洋へ流れる利根川上流の湯桧曽川沿いの新道を下る。黄薄緑葉のブナの大木や広葉樹林帯の中を歩く。
土合橋	１４：４５	１５：００	全員怪我も無く予定時間通り無事下山
秋葉区役所前	１７：５５		新津駅西口 18：10 着　解散

山行等概要（幹事のコメント）

- 山行日は日本海側雨模様、谷川岳の太平洋側のみなかみ町は曇りと晴れ。もう冬型の気圧配置かと思わせる日でした。通常よりもゆっくりしたペースで秋の自然を楽しみながら歩きました。
- 三か所の沢の出合では趣ある岩壁を見ることが出来ました。

一ノ倉沢（標高８７０m）にて　稜線は雨雲が

「谷川岳山麓周回」に担当幹事として参加して

1322　S.N.

　はじめに当初、申込み締め切り日での参加申込者は11 人でした。
この人数は一番厄介で、小型バス利用での山行は参加経費が高価になり中止せざるを得ない状況下に置かれる。そこで申込みをしている信頼できる人に依頼したら９人がその日のうちに参加するとの連絡が入った。この凄さ！！嬉しさのあまりやる気力が湧いてきました。感謝！感謝！です。また、紀行文を寄稿して下さる方が怪我をした旨の連絡が前の日の夕方に入り、このような事になりました。

　茶臼岳・朝日岳の山行は晴れ予報が雨になり散々な目にあいました。このようなことが無いように天気には最新の注力を図りました。ところが２日前の予報では谷川岳に近い湯沢町は曇りのち雨、太平洋側のみなかみ町は晴れ時々曇りでした。秋の雨雲、乱層雲は2,000m 位なので谷川岳に遮られるので大丈夫と判断をして決行することに決めました。

　前段でこのようなことがありましたが、いよいよ出発です。この時期は霜降りの季節で、今朝、新津は雨が止み少々肌寒い中、６時に秋葉区役所前を出発です。

バスで高速で湯沢町を通過するときは雨雲が垂れこみ小雨模様でした。関越トンネルを抜けると日が差し明るくなり、冬場の光景だと思った。みなかみ町のオートキャンプ場はブームのせいかテントが一杯。我々のバスは谷川山麓に近づくにつれて秋色した山景がみられ気持ちが高ぶってきた。

　ロープウエイ駅の土合から３班構成で出発です。最初は山岳資料館を見学とコースと人数の届けをした。舗装された少し登り坂道をゆっくりとっしたペースで一ノ倉沢出合を目指していよいよスタートです。これぞ上信越国立公園の谷川岳山麓だ。豊かな自然林があり特にブナを中心とした街道のハイキングコースだ。赤黄色などの美しい秋色に染めた木々が林立している。森と森の合間に景色が見え秋色の山々を眺めながら歩をすすめた。最初のビューポイントはマチガ沢出合（標高 835m）から眺められる谷川岳の岩峰マチガ沢で堪能する。一息ついた後は国道 291 号線を上る。最大のビューポイントの一ノ倉沢出合に１時間20分余り（標高870m, 標高差 120m）で到着。そこは日本三大岩壁のひとつとも言われ、岩壁の下から上まで 1000 メートル以上に及ぶ一ノ倉の岩壁は圧巻でした。また記念撮影です。大休憩の後、未舗装の国道 291 号線を行く。次のポイントは幽ノ沢出合(標高 885m)を通過し「ブナのしずく」に到着。かなりの量の清水が流れその上部にはブナ林が林立していた。
そこで帰宅後に何故、山麓の広範囲にブナ林が分布しているのか？を調べた。未だ人の手が入らないブナの天然林が見られ、樹齢 300 年を越えるブナの大木も存在するそうです。谷川岳東面域のブナ林に、ＪＲ東日本の送電線が群馬・新潟を結び創設されており、その線下にある高木が伐採されたのは樹齢 134 年ものがありました。
分岐（標高 899m）から 41.5%と急勾配の下降。全神経を研ぎ澄ませ注意をしながら約 83mの下りでした。下降地点はブナ林と湯桧曽川の JR 巡視小屋（標高 816m）でゆっくりと昼食タイムとなった。午後は新道を歩き、沢を４回渡渉し終点の土合橋（標高 684m、湯桧曽川に沿って平均勾配 3.6%の緩やかな下り道）に到着。帰路は湯沢町から本降りの雨でした。参加して頂いたみなさんありがとうございました。

1315S.E.さんのブログをご覧ください。
ブログ「YAMAP ウヅラ　谷川岳山麓散策」https://yamap.com/activities/20463690
ブログ「ウズラの里山日記」
https://ameblo.jp/hiking1315/entry-12770955302.html?frm_src=favoritemail

一ノ倉沢周辺トレッキングコースのご案内

ブナのしずくトレッキングコース（一周 4時間程度）
往路：山岳資料館 ～ 一ノ倉沢 ～ 幽ノ沢ブナのしずく ～ 芝倉沢
復路：芝倉沢 ～ 新道④ ～ 新道① ～ 山岳資料館

国道２９１号線を歩き、幽ノ沢のブナのしずくを経由して、芝倉沢まで行きます。帰りは連絡道を下って湯桧曽川沿いの新道を巡る半日周遊コースです。
トレッキングシューズが必要です。

一ノ倉沢岩壁トレッキングコース（一周 2時間３０分程度）
往路：山岳資料館 ～ 一ノ倉沢
復路：一ノ倉沢 ～ 新道③ ～ 新道① ～ 山岳資料館

国道２９１号線一ノ倉沢出合と湯桧曽川沿いの新道を巡る周遊コースです。
トレッキングシューズが必要です。

距離や時間は参考値です。余裕を持った計画を！

かんたんトレッキングコース（片道２時間程度）
山岳資料館　～　芝倉沢　の往復

国道２９１号を一ノ倉沢を過ぎて芝倉沢まで散策します。一ノ倉沢から先は未舗装ですが、馬車も通れたという広く平坦な道です。所々に清水峠道開通当時の石垣がのこっています。

トレッキングシューズが望ましいです。

かんたんスニーカーコース（片道１時間程度）
山岳資料館　～　一ノ倉沢　の往復

国道２９１号の舗装道を散策します。最初の３つのカーブを過ぎるとほとんど平坦な道です。途中に休憩ポイントもあり、お年寄りから子供まで歩けるお手軽コースです。

履き慣れた靴でＯＫ！（雨の日は注意）